

第 28 回 生物多様性ネットワーク（第 49 号）

〈活動理念・背景〉

急速に失われている生物多様性と、それに関わる様々な問題がある中、生物多様性について理解している若者はまだまだ少なく、また、すでに理解している若者も他の主体の取り組みにまだまだ参画・連携できていないという現実があります。

こうした問題に取り組むために、生物多様性について知り、取り組む若者のつながりを広げていくために「生物多様性わかものネットワーク」を発足しました。

私たちは若者の力で、愛知ターゲットの達成に向けた貢献をし、生物多様性と共に生きていく社会の実現を目指しています。自分たち自身のため、これからの世代のため、世界中の自然のため、それぞれの人にそれぞれの意義はあれど「生物多様性」を掲げ、わかものだからこそ、「今」だけじゃない「未来」の話を。参加するひとりひとりが「だれかまかせ」じゃなく「主体的に動く」。どこで、生まれ育ったかという「原風景・背景」も、研究者も社会人も学生という「肩書」も、どんな研究をしたか、専門があるか、ないかという「知識」も、どんな活動をしてきたのか、仕事をしているかという「経験」も。そんな違いを超えて、様々な人が集まり、話をする事ができる、行動することができる。そんなネットワークでありたいと思っています。

〈活動内容〉

主な活動内容は以下の 3 つです。

1. 生物多様性わかもの会議
生物多様性について真剣に考える若者のための合宿イベントです。今年は、9 月 28 日に開催します!
2. 出前講演事業、生物多様性カタリスト
日本全国、わかものがわかものにセイブツタヨウセイについての出前講演を行います。
3. わかもの国際会議派遣
生物多様性条約締約国会議、IUCN による世界自然保護会議、その他国際会議への派遣を行い、海外の動向の把握、わかもの育成を行います。

2012 年は 9 月に韓国で開催された世界自然保護会議、10 月にインドで開催された生物多様性条約第 11 回締約国会議にメンバーを派遣しました。

〈メンバーの想い〉

「生物多様性そのものがそもそも難しい概念じゃないのか」「生物多様性を守るってすごく大変そうなんじゃないか」そんな風にとられている人も少なくないかもしれません。でもとても身近な所で生物多様性を感じることはできます。普段食べている食事や使っているものの中には直接生き物とふれあっていますし、生物をもとにさまざまな技術も開発されています。新幹線の形状はカワセミという鳥の形をまねて作られているんですよ!
そんな身近な生物について守るために何かしてみたい! と思った人はぜひ一緒に活動しましょう!

篠原光礎